

グローバル学習に関する VALUE ルーブリック

詳細は、value@aacu.org を参照



定義

グローバル学習とは、複雑で相互に依存しあつた国際的なシステムや遺産（自然の、または、物質的、社会的、文化的、経済的、政治的）と、それらが、人間の生活や地球の持続可能性に対して持つ関わりを批評、分析し、それに関与することを意味する。学生は、グローバル学習を通して、1) 多様性と相違に対する高い意識を持ち、知識、寛容性、責任感を身に付け、2) 自己の行動が、地域や国際社会に対し、どのような影響を与えるかを理解し、3) 協力的、公平な態度で、世界が長期間抱えている重要な問題に対処する力を身に付ける。

概要

効果的で変革的な国際学習により、学生に対し、複雑な世界の課題を分析、探求し、様々な人々と敬意をもって協力し、学習の成果を応用して、現代の国際情勢において責任を持った行動をとり、その行動の目標、方法、結果を評価する機会を提供する。グローバル学習は、学生のアイデンティティ、連帯感、倫理観、新たな視点の獲得を促すものでなければならない。グローバル学習は、世界が相互に依存しながらも不公平なシステムから構成されており、高等教育は、人間と自然のシステム、特権と階層化、持続可能性と発展に関する知識を増やすことで、自国や他の国における公平と正義を促進するために重要な役割を担っているという基本原則に則って行われる。グローバル学習は、一つのコースや一度の経験によって行われるものではなく、学生の在学期間全体を通じて、カリキュラムや補助的なプログラムによって継続的に行われなければならない。このルーブリックは、グローバル学習の成果を、計画的、継続的に評価するためのものであり、必ずしも、各基準（レベル1-4）を、一つの経験、コース、課題に適用する必要はない。状況に応じ、レベルを上げることなく、一つのレベルにおいて、学習を発展させることも可能である。

グローバル学習のルーブリックを使う場合は、関連するその他3つのVALUEルーブリック（市民活動への参加、多文化に関する知識と能力、倫理的判断力）を参照することを推奨する。

用語

下記は、このルーブリックにのみ適用される用語と概念の定義である。

国際的自己意識	グローバル学習においては、学生が、自己、地域、国際社会の関連性を体系的に理解して、成熟し統合されたアイデンティティを獲得するために継続される意識を指す。
視点の獲得	自己と異なる視点や経験に関わって、そこから学習し、世界における自分の場所が、自己の知識をいかに増やしたり限定したりするかを理解する能力を指す。個人、社会、文化、学問領域、環境、地域、世界など、複数の視点の関連性を理解する力を養うことを目標とする。
文化的多様性	自己の文化的遺産の起源と影響、および世界において知るべきことすべてを提供することの限界を認識する能力を指す。他の人々の文化的多様性について敬意をもって学び、個人的レベルで、相違を克服して文化的境界を越え、共通の目標に向けて協力するための学習意欲を含む。システムレベルでは、階級制度、不平等、機会を決定し、時代や場所によって異なる権力構造において、文化がどのように捉えられ位置づけられているかを比較分析する重要な技能を指す。これには、人種、民族、性別、国籍、宗教、階級についての理解を含む。
個人的・社会的責任	地域、国、国際社会における自己の責任を認識し、国際社会や個々の社会の双方における倫理や権力関係に関する視点を身に付ける能力を指す。

グローバル学習に関する VALUE ルーブリック

詳細は、value@aacu.org を参照



グローバルシステム	自然システム（生物、化学、物理に関連したシステム）や人間のシステム（文化、経済、政治など人間が作り発展させるシステム）など、観察可能なパターンで機能し、しばしば人間が作り出したり崩壊させたものに影響を受けたり、その結果として生じる、複雑でオーバーラップした世界のシステムを指す。
知識の応用	グローバル学習においては、地域レベルや国際レベルで、文化、社会、自然界（状況）が直面する現代の課題と過去の課題の相互関係に関して、統合された体系的理解を応用することを指す。高等教育で獲得した知識や技能を、単独で、または、他の人と協力して、実社会での問題解決のために適用する能力。

グローバル学習に関する VALUE ルーブリック

詳細は、value@aacu.org を参照



定義

グローバル学習とは、複雑で相互に依存しあつた国際的なシステムや遺産（自然の、または、物質的、社会的、文化的、経済的、政治的）と、それらが、人間の生活や地球の持続可能性に対して持つ関わりを批評、分析し、それに関与することを意味する。学生は、グローバル学習を通して、1) 多様性と相違に対する高い意識を持ち、知識、寛容性、責任感を身に付け、2) 自己の行動が、地域や国際社会に対し、どのような影響を与えるかを理解し、3) 協力的、公平な態度で、世界が長期間抱えている重要な問題に対処する力を身に付ける。

単独の課題、または複数の課題を統合して、ベンチマーク（基準 1）に達しない場合は、0点と採点することを推奨する。

	最終基準	中間基準		ベンチマーク
	4	3	2	1
国際的自己意識	世界における自己のアイデンティティを明確にすることで、自然界や人間の世界における重要な問題に適切に対処する。	自己や他者の個々の行動が、自然界や人間の世界に対して与える国際的影響を評価する。	人間の行動が、自然界や人間の世界に対して与える影響を分析する。	個人の決定と、地域や国際社会の特定の問題との関連性を発見する。
視点の獲得	複数の、または相反する立場（文化、学問領域、倫理）から、自然システムや人為的システムにおける複雑な問題に対する、多様な視点を評価し適用する。	自然システムや人為的システムの調査において、他の視点（文化、学問領域、倫理）を統合する。	自然システムや人為的システムの探究において、他の視点（文化、学問領域、倫理）を確認、説明する。	自己の立場（文化、学問領域、倫理）を重視しつつ、複数の視点を確認する。
文化的多様性	複数の世界観、経験、権力構造を深く理解して応用し、重要な国際問題に対処するために、他の文化と意義深い交流をする。	複数の文化の世界観、権力構造、経験の重要な関連性を、歴史的に、または現在の状況に照らして分析し、他の文化と敬意をもって交流する。	二つ以上の文化を、権力構造を理解して、歴史的に、または現在の状況に照らして説明し関連付け、様々な文化や世界観と敬意をもって交流する。	一つの文化的視点から、他者の経験を、歴史的に、または現在の状況に照らして説明し、様々な文化や世界観に対し寛容性を示す。
個人的・社会的責任	グローバルシステムにおける、倫理、社会、環境の問題に対処するために、知識に裏付けられ責任を持った行動を取り、個人や集団の介入による局地的または広範囲の影響を評価する。	グローバルシステムの、倫理、社会、環境における因果関係を分析し、個人的または市民としての責任感に従って行動範囲を確定する。	地域または国の決定がグローバルシステムに及ぼす倫理的、社会的、環境的影響を説明する。	国際的に影響を及ぼす地域または国の決定の基本的な倫理的側面を確認する。
グローバルシステムの理解	人間の機関や行動が、歴史的または現代社会において果たす役割と、グローバルシステムに与える様々な影響を深く理解し、自然界や人間の世界における複雑な問題を解決するために、知識に裏付けられた適切な行動を取る。	グローバルシステムの歴史的または現代社会における相関関係や、人間の機関や行動の様々な影響など、グローバルシステムの主要な要素を分析し、自然界や人間の世界における複雑な問題に対し、初歩的な解決策を提示する。	人間の機関や行動の歴史的または現代社会における役割や相関関係、自然界や人間の世界におけるグローバルシステムに与える様々な影響を調査する。	国際的、地域的組織の基本的役割や、自然界や人間の世界におけるプロセスを確認する。
現代の国際状況への知識の応用	獲得した知識や技能を応用し、単独で、または人と協力して、学際的な視点から、複雑な国際問題に対し、高度で適切かつ有効な解決策を実施する。	複数の学問領域（文化、歴史、科学など）の視点から、国際的な問題に対し、状況に応じて、適切に、より複雑な解決策を計画し評価する。	少なくとも二つの学問領域（文化、歴史、科学など）の視点から、国際的な問題に対し、実用的だが初歩的な解決策を作成する。	限られた数の視点や解決策など、基本的な方法で国際的な問題を定義する。